

身体に障がいのある児童の受入を開始

児童発達支援センターつくし学園 管理運営事業

予算額 2,332万円

「児童発達支援センターつくし学園」において新たに身体に障がいのある児童の受け入れを開始します。



【その他、主な事業】

事業名	内容	予算額
放課後児童健全育成事業	保護者が仕事等で昼間、家庭にいない児童に対し、小学校授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供します。	1億4,247万2千円
地域生活支援事業	地域生活支援事業を障がい者（児）に提供した事業者に、サービス提供に要した費用を支給します。	1億6,362万6千円
がん検診等推進事業	がんの早期発見、早期治療を目的にがん検診を実施し、検査結果で要精密検査となった方に対して受診を勧奨します。	5,408万1千円

また、伊勢志摩サミットを契機に今後ますます増加が見込まれる外国人観光客を誘致するため、多言語版の観光ガイドや公衆通信環境（WiFi）の整備により、受け入れ環境の充実を図ります。

さらに、5年に一度の本市最大のイベントである「第8回はんだ山車まつり」の実行委員会を発足させ、平成29年度の開催に向けた準備を官民一体で進めていきます。

企業立地については、平成28年から平成29年にかけて、自動車部品や航空機の生産工

にぎわいの創出と 良好な環境が 両立するまち

場が順次操業を開始し、約1,000名もの新たな雇用が創出されます。また、工場立地法に基づく緑地規制の緩和措置を活用して設備投資を行う企業もあるなど、企業立地の取組が徐々に実を結んでいます。さらに企業誘致を推進するため、新たな工業団地の造成に向けた基本構想を策定します。

中心市街地のまちづくりでは、これまでの事業者・商工会議所・行政という枠組みに加え、生活の場でもあるという観点から、地域住民を加えた新たな協議の場を商工会議所と協力し立ち上げ、暮らしやすい生活空間と活力ある地域経済の実現を目指します。

畜産環境対策については、畜産の振興と快適な市民生活を守るため、引き続き臭気などの環境対策を推進していきます。

水道事業では、水道管の耐震化や防災拠点施設への応急給水栓の設置など地震対策事業を引き続き推進するほか、自然流下による配水区域拡大のため、砂谷高架型配水池の建設を進めます。

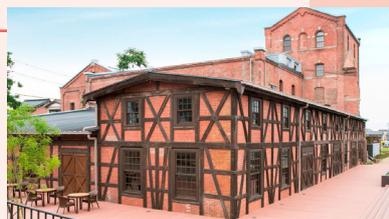
下水道事業は地方公営企業法を適用し、本年4月から公

観光施設への誘客を促進

観光振興事業

予算額 4,040万8千円

平成27年度にオープンした「半田赤レンガ建物」「ミツカンミュージアム」「旧中荻半六邸・半六庭園」などを核として、多くの観光客を誘客するため、市内外へのPRの強化、回遊性を高める仕組み等を構築するとともに、外国人観光客等の受入環境を整備します。



- 観光プロモーションの推進
- 観光ガイド多言語版の作成
- WiFi環境の整備

営企業会計へ移行します。将来にわたり安定した住民サービスを提供するため、より一層の効率化・経営健全化に努めます。